

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～



青年部会長伊藤良平氏、事務局林昌氏

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。

ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。

三重県トラック事業協同組合 青年部会長 伊藤良平(いとうりょうへい)氏

当組合は、四日市市を中心とした貨物自動車運送事業者によって設立され、組合員のために必要な燃料やタイヤ等の共同購買事業、高速自動車国道等の通行料金の共同精算事業、組合員に必要な技術・知識の普及を図るための教育情報事業等を行っています。

また、当組合青年部は、昭和53年4月に設立され、今年で39年目を迎えます。役員の任期は1年で、定年は50歳です。本年4月には、伊藤良平氏が青年部会長に就任しました。

そこで、今回は伊藤会長と当組合事務局で青年部ご担当の林様にお話を伺いました。

伊藤会長が取締役部長を務める末広運輸株式会社では、主に製品の原料となる菜種油、大豆油、トウモロコシ油の3種類の食用油をタンクローリーで製品製造工場へ運んでいます。また、食品等の製品を愛知県内の倉庫に輸送しています。

他の青年部会員企業では、機械部品、発泡酒・人工甘味料の原料となる液糖、断熱材等の住宅部材、プラスチックの原料となる樹脂、大型機械、自動車部品等をトラックに積み、小口配送だけでなく、関東などの県外への長距離輸送も行っています。

伊藤会長は、当業界に携わるようになって6年目で、現場のことも理解できるようにと、6年前に大型車両やフォークリフトの免許を取得しました。この業界に入って、トラック輸送によるライフラインの重要性やトラックドライバーが大切な役割を担っていることを改めて感じているそうで、荷物を運ぶことだけでなく、丁寧な接客対応や安全な運転も、プロドライバーだからこそその配慮が必要だと話します。

当青年部では、以前には交通遺児へのチャリティーバザーや上部団体の青年会であるY.O.U(日本貨物運送協同組合連合会青年会)としての活動等を行っていましたが、個人情報の保護に関する法律の観点や時代の流れ等により、それらの活動は廃止や休止となり、現在は、組合員親睦のためのボウリング大会の運営や

月1回の勉強会を開催しています。

勉強会では、青年部のメンバーが順番でテーマを決め、業務上の課題などについて解決策等の検討や情報交換を行っています。同じような立場で検討できるのでとても役立つ会となっています。

また、親会である三重県トラック事業協同組合では、平成29年3月に施行された「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」により、「トラックを運転する場合の心構え」や「トラックの構造上の特性」等についての研修を行っており、青年部のメンバーも参加して自己研鑽に努めています。

伊藤会長は、当青年部の活動について、日々の業務が忙しい中、若いメンバーが興味をもって参加できる魅力あることを継続してやっていきたいと考えています。

そのような中、当組合所在地である四日市市が、今年、市制施行120周年を迎え、記念の市民企画イベントを公募しています。

当青年部では、このイベントに参加するための企画を検討中で、トラック業界のことをアピールできて、今後に繋げていくことができる企画を立て、イベントに参加し、成功させたいと意欲を燃やしています。



勉強会の模様